

ロングビーチ市の紹介と 都市提携のきっかけ



ロングビーチ市はどんなまち？

人口 約45万人 →四日市市の1.5倍
 面積 131.3km² →四日市市の約2/3の大きさ
 時差 -17時間（夏期-16時間）
 市制施行日 1888年2月10日 →四日市市より9年早い



ロサンゼルス市の南に位置し、太平洋に面して9kmに及ぶ長い砂浜を有する、カリフォルニア州有数の都市です。ウォーターフロント立地を生かした美しい街並みを持つ観光都市であり、クイーン・メリー号やロングビーチ太平洋水族館、ロングビーチグランプリなどの豊かな観光資源と温暖な気候に恵まれていることから、毎年多くの人を訪れます。
 また、過去に油田が発見され、石油精製等の工業都市としても発展し、その後、航空機製造などをはじめとする重工業産業が市の代表的な産業となり、今日では、全米有数のコンテナ取扱量を誇る港を擁する港湾都市でもあります。

どうしてロングビーチ市と姉妹都市関係を結んだ？

1957年、四日市市では市民相互の間に文化生活向上のため、知識と関心を国際的なものにしようとする機運が高まる中、当時の吉田勝太郎市長がアメリカ文化センターと情報交換を行ったのが発端となり、姉妹都市提携についての調査研究が進められました。



そこで、以下の3点に重点を置き、候補都市の選定が行われました。

- ① 人口30~40万の都市であること
- ② 港を中心とした商工業都市であること
- ③ 太平洋岸の都市であること

その結果、ロングビーチ市が次の理由で候補として選ばれ、提携を進めるに至りました。

- ① お互いに太平洋を挟んで港を有し、外航船により結ばれている。
- ② 石油化学中心の工業都市である。
- ③ 既に提携している名古屋市とロサンゼルス市に対して、相互の位置関係がよく似ている。
- ④ ロングビーチ市の周囲に北勢地域出身者が多く移住しているなどの点で親しみがもてる。

ロングビーチ市の代表的な風景



ロングビーチ・マリナー



かつて豪華客船として使われていたクイーン・メリー号



アミューズメント施設「ザ・バイク・アウトレット」



市名の由来となった数マイルに及ぶ砂浜